



平成29年度  
事業報告

社会福祉法人 容風会  
おきなの杜

## 特別養護老人ホーム おきなの杜

2017スローガン

**自ら考え、みんなで考えて行動し、スタッフ全員でスキルアップを目指す！**

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	住民様の健康管理を行い、安心して暮らせるように支援していきます。	<p>①24時間シートについては、隨時見直しをしました。ユニット毎で見直しや更新の方法が多岐にわたり充分な見直しはできませんでした。リハビリの記録欄や内容については統一できました。</p> <p>②口腔ケアに関しては、住民様一人一人に手順書を作成し、食事前後の口腔ケアが徹底できました。誤嚥性肺炎での入院は3件でした。(前年度:8件)</p> <p>③住民様の健康状態は、多職種と密に情報交換を行い把握し、早期発見、早期受診を行いました。</p>
目標 2	リーダー育成の為、定期的に学習会を開催し、新人事考課制度を活用し、個々のスキルアップを目指します。	<p>①リーダー育成のための学習会は定期的に開催することはできませんでした。</p> <p>②新人教育の資料やスケジュールを作成しましたが、実施までには至りませんでした。ターミナルケアの指針やマニュアルを作成し、学習会を行いました。「おきなの杜のユニットケア」ハンドブックは完成には至りませんでしたが、ユニットケアについての学習会は実施しました。</p> <p>③スタッフの指導に関しては、その都度、指導・助言を行いました。個別目標までのスキルアップまでには至っていません。</p>
目標 3	定期的に学習会を開催し、知識の取得や介護技術のスキルアップを目指します。	<p>①福祉用具(スライディングボード、スルスルシート)の活用するスタッフが増え、住民様やスタッフの負担軽減や怪我の防止につながりました。</p> <p>②口腔内の確認とケアを行い、食事中の嚥下状態もより注意して観察するようになりました。</p> <p>③褥瘡に関しては、ブレーデンスケールで評価することにより、早期発見ができ悪化防止につながりました。適切なオムツの選択ができ、オムツによるスキントラブルもほとんどありませんでした。</p>

年間総括

平成29年度の入院数は、34件で前年度より2件多かったですが、入院日数は558日で前年度より51日少なく、誤嚥性肺炎とともに減らすことができました。多職種間で情報共有を行い早期発見に努めた結果、入院日数、誤嚥性肺炎で入院の減少につながりました。平成30年度は、早期発見、早期受診を心がけ入院数の削減、入院を長引かせないように、多職種連携して住民様の健康管理に努めていきたいと思います。

ノーリフトケアを全職種で取り組むために、「ノーリフトについて」「福祉用具の使い方」などの学習会を開催しました。機能訓練指導員が福祉用具を活用しての介助方法を日々の業務のなかで伝えていくことにより、スタッフの福祉用具への関心が徐々に広がり、使用者も増えており、ノーリフトケアの導入に向けての基盤づくりができてきています。

## ショートステイ おきなの杜別館

2017スローガン

「おきなのショートに行きたい！預けたい！」と思われるショートステイを目指します！

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	在宅にはない「心地良い時間」を提供します。	<p>①ご利用者様やご家族様の要望はしっかりと聞き取り、ユニットスタッフに伝え、全員が周知し、支援を行なうようにしました。</p> <p>②在宅での様子を正確に把握するまでは至らず、リハビリまでにはつながりませんでした。</p> <p>③ケアの統一を図るように取り組みましたが、申し送りが徹底できない事もあり、統一が不十分なところもありました。</p>
目標 2	楽しい企画やアクティビティの提供を行います。	<p>①午前中の体操や脳トレは毎日実施し、定着させることができました。</p> <p>②外出企画は実施しましたが、目標の月1回は達成できていませんでした。</p> <p>③玄関・リビングは、季節に応じた設えを行いました。アクティビティに関しては、押し花のうちわ作りや風鈴作り、園芸など新しい趣味活動を取り入れ、押し花の作品に関しては作品展に出品しました。 週末は映画鑑賞会やカラオケなど利用者様のニーズに合わせて行いました。</p>
目標 3	稼働率95%を目指します。	<p>①稼働率は92%で目標達成はできませんでした。入院による急なキャンセルが多かったため、入院時の予約についてのルール決めを行い、各事業所にお知らせしました。</p> <p>②平成29年度は、40件の新規のご利用がありました。</p> <p>③事故19件発生しました。忘れ物もあり目標のゼロにはできませんでした。</p>

年間総括

平成29年度は、急なキャンセルなどの対応が十分でなく、空室状況も上手く発信できなかったため、稼働率は目標の95%には達成できませんでした。見やすいパンフレットを作成し、入院時の予約のルール決めを行うなど、ショートステイの宣伝や予約管理の見直しは行いました。玄関やリビングの設えも季節に応じて行い、風情のある飾りつけを行いました。  
事故や忘れ物はゼロになっていないため、利用者様の状況をしっかりと把握し、日中や夜間などのリスクをスタッフ全員で共有し、事故ゼロを目指すことと、荷物チェックの全面的な見直しを行い、ゼロになるように平成30年度は取り組んでいきます。

## おきなの杜デイサービス いきがい元気塾

2017スローガン

**いきがい ワクワク ドキドキ 大作戦 !**

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	中重度者のご利用者を積極的に受け入れます。	<p>①医療ニーズに応えられるように個々人で学習会や研修会に参加し、スキルを上げる努力を行ないました。情報の共有にも努めています。</p> <p>②専門職がそれぞれの視点からアセスメントした情報を共有し、個人に合った役割を担って頂く働きかけを行ないました。デイサービス内だけでなく、ご自宅でも積極的に家事をされる等の嬉しい声も頂きました。</p> <p>③回想法や現実見当識訓練のプログラムを取り入れ、実践しました。</p>
目標 2	在宅生活に「いきがい」を持って頂けるよう、自立に向けたプログラムを実施します。	<p>①ニーズと現状を全ての職員が把握し、リハビリ会議で検討しながら個別性のあるプログラムを実施することができました。今後も継続していきます。</p> <p>②今のADLやIADLを最大限に活かせるような個別援助を実施しました。</p> <p>③何気ない活動もリハビリの一環である事を確認し合い、過剰な介護を行わず、「出来る事は自分で」を実践しました。外出企画でADLの拡大やIADLの向上の評価ができた方も増えてきております。</p>
目標 3	地域に根差し、地域に頼られるデイサービスにしていきます。	<p>①定期的なイベントへの参加はあまりできておりませんが、夏祭りや貫校区ふれあい委員会へ参加し地域の一員として活動を行いました。</p> <p>②地域清掃の参加や地域ボランティアの依頼を行い、交流を深めました。</p> <p>③居宅介護支援事業所への営業のみならず、ご利用者が利用している様々な社会資源との連携に努め、より密度の濃い情報共有とサービスの提供ができたと思います。</p>

年間総括

今年度は「人生を楽しむ」をテーマに、「いきがい」と感じられ、「ワクワク」する時間を提供してまいりました。職員が積極的に外部の研修に参加し、得てきた知識を共有・実践することで、認知症の方へのプログラムに厚みが増したと感じています。また、専門職によるアセスメントを基にリハビリ会議を開催するなかで、多角的な方面からの問題提起と解決策の検討がより活発に行えるようになりました。毎日のレクリエーションや月1回の外出訓練も、マンネリ化を防ぐため今までとは違う企画を取り入れ楽しんで頂くことができました。身体状況に応じた対応の個別性を念頭に、辛い所に手が届く気付きと気配り、行き過ぎた介護を行わないという2点の線引きは難しかったのですが、職員一人一人が、ご利用者の出来ることをしっかりと見極める眼を養うことができたと思います。その結果、稼働率も前年度を大きく上回る事が出来ました。来年度も、これらのことと更に追求し続け、「中重度の受け入れ」を積極的に行い、地域に根差した“新・元気塾”を目指して、日々努力を致します。

## おきなの杜デイサービス やりがい文化村

2017スローガン

**デイサービス 地域一番店を目指そう！**

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	できることを増やそう "やってみよう"に努めます。	<p>①コグニサイズなどの新しい訓練を取り入れたり、生活に合わせてメモ取り訓練や、転倒からの立ち上がり訓練など、生活に合わせた訓練を実施できました。</p> <p>②毎月看護師から、血圧やお薬の飲み方など、身近なテーマについて教室を開催しました。手作りの資料もわかりやすいと好評でした。</p> <p>③全員参加型制作(絵画)は、普段制作活動に参加されない方やご家族にも好評でした。</p>
目標 2	"豊かな時間"を提供します。	<p>①毎月の文化村食堂は、調理する楽しみ、出来る喜びや達成感、出来上がる過程でのおいしそうなおいや楽しい雰囲気が食欲を増進させ、毎回豊かな時間の提供が行えています。</p> <p>②モレールでの交通機関を使った外出や、行く先や食事場所を利用者によってオーダーメイド可能な企画を立案し、参加していただく方の満足度の高い外出を行えました。</p> <p>③書道教室では昇段や受賞者がでたり、モチベーションをもって活動参加できました。</p>
目標 3	"つながる大きな家族"へ心をこめます。	<p>①相談員を中心に、ケアマネやご家族とのこまめな連絡を心掛け、よい関係づくりが行えています。</p> <p>②役割分担に各自が責任を持って取り組み、活動やデイサービスの運営に協力して取り組むことが出来ました。</p> <p>③ご利用者様が地域活動に参加できるような機能訓練にも取り組みましたが、十分な結果を得ることはできませんでした。来年度もデイサービスの地域交流を課題として取り組みます。</p>

年間総括

平成29年度はやりがい文化村の一日当たりの定員36名に対して平均して31.87名の方のご利用がありました。稼働率も平均88%と、地域に必要とされるデイサービスへの一歩を踏み出せた気がします。毎日のサービス提供の中でスタッフが知恵を出し合い、限られた時間と人と、モノでどうすれば充実した活動ができるか、在宅で役に立つ機能訓練ができるかを考え続けました。文化村には特別な機械や設備はありません。しかしデイサービスで過ごすすべての時間が、在宅生活につながる機能訓練という意識をスタッフ全員がもち、過介助をなくす努力を行ってきました。機能訓練では電話のメモ取りや携帯電話操作訓練、乗用車の昇降訓練や転倒後の立ち上がり訓練など、在宅生活で必要な訓練を行い、効果を上げることが出来ました。また、趣味活動・制作活動ではモノづくりの生きがいだけでなく、ご利用者同士が教えあったり誘い合ったりする社会交流の場としても機能する事が出来ていると感じています。今後も文化村にしかできない自立支援、在宅生活の充実に向けて、取り組みを続けていきたいと思います。

# 新規デイ OKINA de ARUKU

2017スローガン

**選ばれるディサービス・OKINA de ARUKUを目指します！**

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	「歩く」にこだわります。	①平成29年8月の開設に向けて、開設準備期間から、開設チームスタッフで「歩行」に関する研修、勉強会を行ってまいりました。「歩く」にこだわり、「歩く」力に繋がる運動にこだわり、運動メニューの提案と実施を行いました。実際に、散歩に行けた!買い物に行けた!旅行に行けた!等の声や家事動作が楽になった、立ち座りが楽になった等の声も聞かれています。歩行力のアップから、意欲や自信へつながり、在宅生活が充実していく、そのような方々をARUKUで今後さらに増やします。
目標 2	Before/After見える化します。	①歩行分析器「OKINA de PiT」を使用し、歩行を専門的に分析し、リハビリ期間の前後を数値や画像で見ていただくことで、成果が見え、次の意欲へと繋がるよう、サポートしました。 実際にリハビリ実施前の、歩行や姿勢などの比較ができることで、「ここが良くなった!」「ここをもう少し」と、運動継続の意欲へとなっています。今後は成果を出す、成果を求め、その成果が見えることで、次の意欲へと繋がるようサポートしていきます。
目標 3	おもてなしの接遇を致します。	①「ようこそいらっしゃいました!お待ちしていました!」「またお待ちしております!」 スタッフ全員で、ご利用者への声かけがしっかりと行き、感謝の気持ちを忘れず、対応ができたと思います。平成29年度は、クレーム件数0件で終了しました。 今後も、おもてなしの接遇を継続し、満足感、充実感のある魅力的なディサービスとなるよう、スタッフ全員で取り組みたいと思います。

年間総括

平成29年度は、開設準備、研修の実施、営業活動等からスタートし、8月の開設を無事に迎えました。徐々に認知度が高まり、実際に体験や見学に来られたご利用者様は152名様、そのうち契約となった方は97名様で、平成29年度を終了しました。  
お一人お一人の「歩きたい」気持ちを、「歩けた!!」の喜びに変えられるよう、チームで取り組んでまいりました。少しずつ、歩行測定結果も数値として成果が見られる方が増えてきました。また、運動を継続する事で前向きな気持ちや生活意欲の向上が見られるようになりました。  
ARUKUに通い始めて、体が随分元気になった!歩く姿勢がよくなかった!散歩に行けた!買い物に行けた!などの声が聞かれます。  
平成30年度は、さらに成果を求める、成果を出す、そしてその成果をどんどん発信し、稼働率アップはもちろん、ご利用者、ご家族の満足度アップをチーム全員で目指します。

# 訪問介護ケアメイドインおきなの杜

2017スローガン

**利用者ひとり一人が満足の行く生活維持の実現を目指します！**

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	利用者・家族に寄り添い生活状況の把握を行います。	<p>①訪問時には利用者の話に耳を傾け、コミュニケーションを密に取りながら、支援する事ができました。</p> <p>②体調や生活状況をしっかり観察し、ご家族・ケアマネジャーに報告して改善された例もあり、スムーズな活動ができました。</p> <p>③活動の指示・報告は欠かさず行うことができ、複数のスタッフが関わっている利用者へも、連携して対応する事が出来ています。</p>
目標 2	各部署・多職種との連携を強化します。	<p>①生活支援との情報の共有を密に取り、連携は良好に出来ています。</p> <p>②訪問時に気づいた点は他部署に連絡し、細やかな対応をする事で相互の信頼関係を築きながら、良好に維持できています。</p> <p>③各部署・他職種との連携を図っていますが、新規利用者の獲得数は伸びていません。</p>
目標 3	地域に信頼され求められるよう貢献して行きます。	<p>①訪問時や移動の際は、おきなの杜のスタッフとして行動するよう努めてきました。</p> <p>②地域の集まるなどには参加する事が出来ませんでした。</p> <p>③ヘルパーミーティング時に研修をしてきましたが、さらにスキルアップ出来るよう充実した研修をおこなって行きます。</p>

年間総括

平成29年度の途中で登録ヘルパー1名が産休となり8名での活動となりましたが、全員で協力しながら安定した支援が出来るよう、またスタッフ一人ひとりが安心して活動が出来るように体制の見直しをおこなって来ました。その結果複数のスタッフで対応し円滑なサービスを提供する事が出来るようになりました。

利用者が自宅で自分らしく生活が出来るように常にコミュニケーションを第一に考えて、体調や生活状況の把握に努めご家族との関係も良好に維持する事が出来ていますが、12月から利用回数の多い重度利用者が、相次いで2名入院・中止となりました。

利用者やスタッフの状況も変化して行きますが、より良いサービスが継続出来るようスタッフの増員と利用者獲得に向けて、自事業はもちろん他事業所との連携を強化し、今後も地域に貢献して行けるよう誇りを持って活動をおこなって行きます。

## 介護相談処(居宅介護支援事業) 地域介護支援センターおきなの杜

2017スローガン

**信頼を受け、心のこもったケアマネジメントの構築に取り組みます！**

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	各関係機関との連携を強化し支援に対して共通認識を持ち問題解決に努めます。	<p>①各々のケアマネジャーがリーダーシップを發揮し、質の高いケアプランの作成に努めました。</p> <p>②入退院時には医療機関との連携により在宅への受け入れを円滑に進めました。</p> <p>③各関係機関より迅速に連携が取れることができ、円滑な在宅生活への支援へと導くことができた為、高い評価を受けました。</p>
目標 2	地域との交流を密に行い、地域に貢献すると共に信頼を得られる事業所になります。	<p>①地域の方々への利用が増え、口コミによる支援依頼が多くなりました。</p> <p>②誠意をもって小さな相談からサービス利用に至るまで支援を広げています。</p> <p>③介護サービスだけではなく北九州市が行っている独自サービスなどの社会資源を提案し、在宅生活を維持できるように支援を行いました。今後も地域の方々から多くの信頼が得られるように地域に貢献していきます。</p>
目標 3	在宅ケアマネジャーとしての資質の向上と、マネジメント力の強化を図ります。	<p>①ケアマネジャーが身に付けるべき知識や専門的見地を研修で学び、スキルアップしてきました。</p> <p>②困難事例を積極的に取り組み、支援を行っていました。今後も各ケアマネジャーが様々なケースを担当し、個々のスキルアップができるように努力していきます。</p> <p>③行政との関係に力を注ぎ、共に問題解決に努めました。</p>

年間総括

医療ニーズの高い事例や困難事例の対応を積極的に受け入れていた為、各関係機関や医療機関との連携を密に行いました。次第に支援の相談依頼が増え、新規の利用者も増加しました。しかし、冬場にかけて入院・施設入所などの利用者が増加し、新規の相談依頼が減少しました。今後の対策として、法人の広報PRをしっかりと行い、介護相談処(地域の相談窓口)として多職種・医療機関・行政との関係作りを一層深めていきます。その為には「伝える力」、「考える力」、「動く力」を身につけ、利用者様の気持ちを真摯に受け止めて、自立した生活が営めるように支援を遂行し、新規利用者の獲得を行っていきます。

## 生活サポートサービス おきなの杜の御用聞き

2017スローガン

**地域の方々に『心強い存在』として定着します！**

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	地域の方々とのふれあいの場を増やします。	<p>①地域の集いに参加し、ご利用者様を獲得することができました。またそのご利用者様の口コミでお問合せ等もいただいています。</p> <p>②ボランティア活動に参加する機会はありませんでしたが、今後も地域の方々のお役にたてるよう引き続き参加への意欲は持ち続けていきます。</p> <p>③ソポーターになりたい！と手をあげていただけるよう、更なるPRに努めます。</p>
目標 2	ケアマネジャーとの交流を図ります。	<p>①毎月営業に赴き、新規開拓を積極的に行いました。まだご利用はいただいておりませんが、今後も継続してご挨拶に伺う予定です。</p> <p>②すでにご利用のある事業所にも定期的にお伺いすることによって、新しく入職されたケアマネジャーの方ともすぐに交流をもつことができました。</p>
目標 3	どんな小さなお困り事にも対応できるよう、スタッフの充実とスキルアップに努めます。	<p>①登録ヘルパーさんからの質問を受付ながら、事業内容を改めて説明し、確認し合うことができました。</p> <p>②ソポーターが2名入職したおかげで、活動内容にも幅が広がり、対応できる時間・日程も増えました。</p> <p>③対応できないケースも専門業者へと紹介し、ご利用者様のご要望をきちんと叶えることができました。</p>

年間総括

依頼数の倍増、お問合せや登録人数の増加から見ても、確実に当事業所の認知度は上がっていると思います。

売上に関しましては、前年度比150%超えを達成いたしました。

また、専門知識を持った職員が入職したことにより、活動内容の幅も広がり、様々なニーズに対応できるようになりました。

今後は、ご依頼に対して、更なる丁寧な対応と作業を心がけリピーターを増やしていくと同時に、定期ご利用者様獲得のため、スキルアップ、マナーアップ、コミュニケーション力アップを目指して行きます。

# 経営管理本部 事務局

2017スローガン

次々にやってくる法改正(社会福祉法人制度改革)や介護報酬改正への対応力強化!

平成29年度 年間総括

		目標に対する取組・成果・実績
目標 1	社会福祉法人制度改革にともなう使命・役割を果たしていきます。	①平成29年4月に社会福祉法人の制度改革がおこなわれ、定款の変更や理事会・評議員会の仕組みの変更、及び行政等への届出も滞りなく終えることができました。また、社会福祉法人に求められる透明性を確保するため、ホームページへの公開を積極的におこない、公益性や地域との関わりをより深くするための取り組みも実施しました。 地域に根ざした、信頼される法人であるための活動を今後もおこなっていきます。
目標 2	平成30年度の介護報酬改正に向け、地域のニーズに応えるべく、取り組みます。	①3年に一度の介護報酬改定が行われる平成30年4月を前に、しっかりと情報をキャッチすることで、今後の運営方針を熟考し、検討することができました。改定内容については、加算や利用時間の細分化が行われ、より利用者のニーズに応えていくことと、サービスの質を向上させることが更に求められていくことになります。また、職員への処遇改善加算も取得し、介護職員の処遇改善に引き続き取り組んでいきます。
目標 3	人事考課制度のスムーズな運用と社内研修の充実など人材育成と定着を図ります。	①再構築した人事考課制度も徐々に仕組みとして浸透してきています。年に2度行われる半期の振り返りと上司・部下との面談で、自分の仕事の成果を振り返り、上司は部下に期待することの声掛けがおこなわれ、信頼関係を築くことにつながっています。また、様々な取り組みの委員会や学習会も定例となり、積極的な参加が定着できています。今後も人材育成と信頼関係の構築につながる人事考課制度となるように取り組んでいきます。

年間総括

平成29年度は、社会福祉法の改正や介護報酬改正など、法改正に追われた一年でした。今後もこのような法改正は定期的に継続していくため、早めに準備に取り掛かることや情報収集、柔軟な対応力を身につけ、取り組んでいきたいと思います。

また、下半期の目標として、事務管理や経営面における業務効率化を目指し、①保管義務のある文書のデータ化 ②職員の就業管理システムの導入、③介護記録ソフトの選定などを掲げていました。それぞれの取組結果としては、①紙ベースでの文書保存整理の完了、②就業管理システム導入は経費面から見送り、③介護記録ソフトの選定については従来のソフトの継続に決定となりました。

法人全体の事務効率、管理効率を上げるためにには、わたしたち事務局員が常に変化を恐れず取り組み続け、外部での研修参加や他法人への訪問等で各自スキルを上げていく必要があります。それを怠らず取り組み、日々前進し、法人に貢献しなければいけません。

5年後、10年後を見据え、地域一番を目指し、法人を良くすることに尽力します。